

エクセルで単位を付けても計算対象に

エクセルで表を作成したとき、金額の欄には「1,000 円」と記入するとその数値が金額であることがよくわかりますので、つい「1,000 円」と記入したくなります。

しかし、「1,000 円」はエクセルでは「文字列」と判断されるため、計算の対象にはなりません。

計算が得意なエクセルを使って、計算したい対象なのに計算できないデータを入力してはエクセルを使用する意味がありません。これを避けるため、数値と「円」を別のセルに記入するのも手間です。

「1,000 円」と表示し、計算対象とする方法として「数値の表示形式」が利用できます。

まず、3桁区切りを設定しましょう。

手順は、3桁区切りをしたいセルまたはセル範囲を選択して、【ホーム】タブの【数値】グループの「桁区切りスタイル」のアイコンをクリックします。



次に末尾に「円」を付けます・

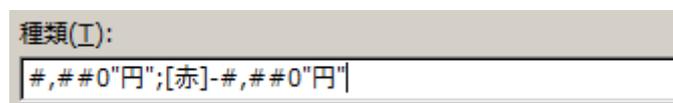
手順は、「円」を付けたいセルまたはセル範囲を選択して、【ホーム】タブの【数値】グループの右下にある矢印マークをクリックします。

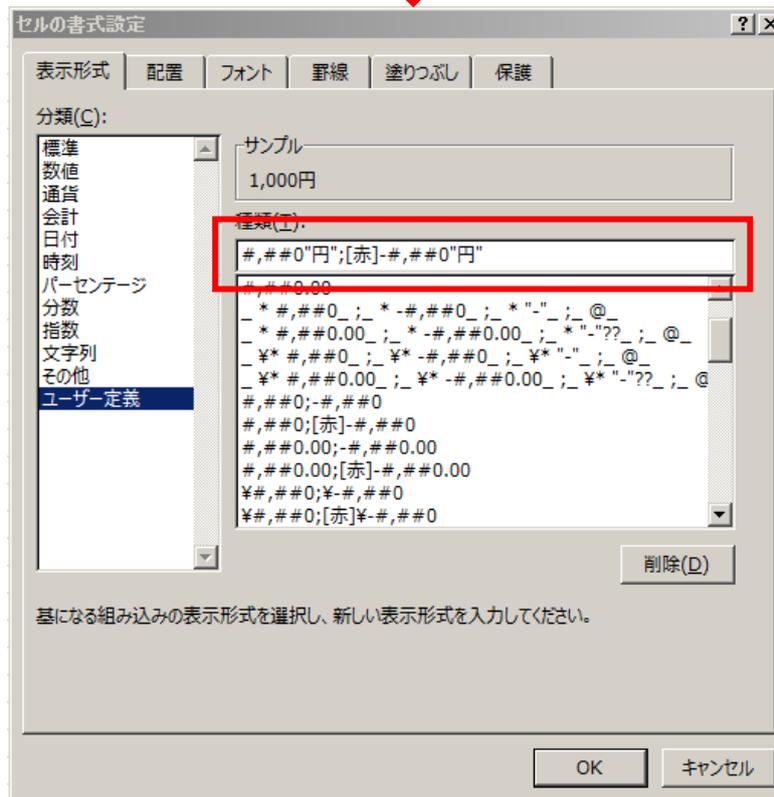
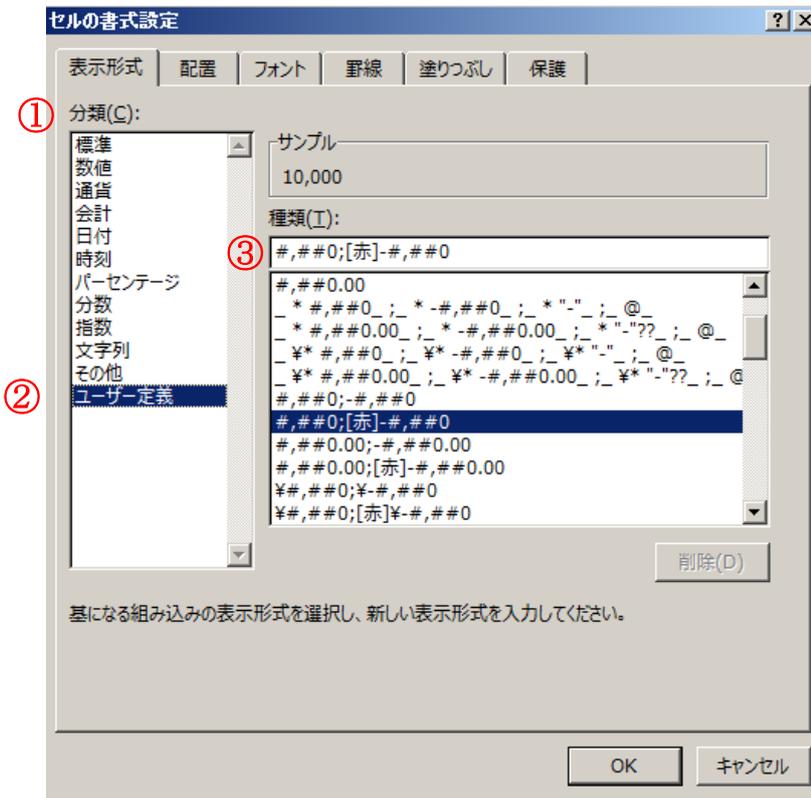


【セルの書式設定】のダイアログボックスが開きます。

【表示形式】タブ（次ページ①）の【分類】の【ユーザー定義】（次ページの②）をクリックします。

【種類】の下に「#,##0;[赤]-#,##0」（次ページ③）が表示されますので、「#,##0」「[赤]-#,##0」のそれぞれのうしろに下のように「円」（半角ダブルコーテーションで囲んだ円）を入力します。





【OK】 ボタンをクリックします。

「円」の代わりに「人」「個」などを記入すれば、「1,000 人」「1,000 個」と表示したうえで、計算対象にできます。